

## 特集

### ユニークな場所で活動するクラブ



#### くまがしクラブ ＜奈良県生駒郡平群町＞



日本体育協会が「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」で掲げる総合型クラブの基本理念である「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、クラブの活動が地域に根差し、クラブが安定的に運営されることが必要です。安定的な運営のためには、地域で活用できる様々な施設や場所、空間を調査し、活動拠点以外の施設も利用できるよう関係機関・団体と話し合う取り組みが求められます。そこで今回は、ユニークな場所で活動を行っているクラブを紹介します。



1. 住民目線でニーズを反映し、住民主導のスポーツクラブを目指す
2. 道の駅イベントを活用し教室へ勧誘 道の駅ギャラリーに展示→参加者増
3. クラブ認知度高まり事前申し込みが毎年増→発足5年目で会員400名超

#### 1 クラブ概要

くまがしクラブは、行政主導の下、平成23年1月に発起人会が発足し、体育協会・長寿会・婦人会・町子連・地域振興センターの各種団体が集まり、平成23年4月に開催された設立準備委員での協議を経て、平成25年3月16日に「くまがしクラブ」が設立されました。

「町民ひとり1スポーツ」を合言葉に「目指せ会員1000人」を掲げ、会員自ら運営に参加して自主自立を目指して5年目を迎えました。現在、地域振興センターが指定管理者として運営している平群町総合スポーツセンター内に事務所を構えて教室事業を展開しています。また『道の駅』も指定管理者として地域振興センターが運営管理していることから、地域振興センターが行っていた教室事業の形を変えて引継ぎ、ハード面は「地域振興センター」、ソフト面は「くまがしクラブ」とすみ分けして地域振興のために協働しています。

現在、409名の会員(多世代として幼児から高齢者まで)の登録があり、普及クラスとともに強化クラスまでを育成するアカデミー構想の基、地域で講師を育成する講習会を年9回開催しています。また竜田川沿いの総合型地域スポーツクラブが5クラブ集まり「たつたがわ連絡協議会」を設立して、教室事業の相互協力・イベント開催を行っています。

## 2 道の駅でクラブ活動

### ①行政の提案でソフト面の運営を引き継ぐ

もともと「地域振興センター」は行政の第3セクターとしてスタート。総合型地域スポーツクラブを生涯学習に取り入れる際に両方の組織がうまく行くようにと教育委員会が町行政と勘案して、ハードとソフトを分けました。指定管理の中にスポーツ教室や文化教室などを行う契約を交わして、第3セクターの「地域振興センター」にお願いしていましたが、この部分を住民主導の総合型地域スポーツクラブ「くまがしクラブ」に移行することになりました。

こうした背景があり、地域振興センターから「道の駅大和路めぐり・くまがしステーション」で道の駅教室を依頼され、平成27年度からスタート。道の駅は地域の農業振興が目的で、地域振興のために生産した農作物の販売や農作物を利用して生産者と一緒に作ることを目指したお菓子教室・パン教室・クッキング教室の他にアロマ教室・クラフト教室等がありました。

行政が求めるクラブは、地域住民の人たちが自分たちの住む地域に何が必要なのかを一番良く理解し、住民の目線で意見やニーズを的確に反映させることができる組織です。「住民による住民のための住民のクラブ」を目指し、ソフト面を「くまがしクラブ」ですみ分けして行うことで、より良いサービスが提供されることが期待できるため、総合型クラブに引き継がれました。



道の駅大和路めぐり・くまがしステーション

### ②企画運営に携わる貴重なボランティアスタッフ

「道の駅」教室を企画運営するにあたって、平成26年秋よりボランティアスタッフとして、くまがしクラブに参加している新井朋子さん(38歳)が担当しています。子育てに追われる中で、幼稚園のPTA役員を1年間活動した経験がきっかけとなり、小さい頃から子供たちに色々な体験を通じて生きる力を養ってもらいたいという想いから、ボランティアへの参加となりました。

### ③「えんぴつスケッチ」「多肉植物寄せ植え」教室で軌道に 作品展→新たな参加者

えんぴつスケッチ教室、多肉植物寄せ植え教室を考案してスタートさせましたが、当初は募集をかけたものの2~3名のスタートとなり苦労しました。えんぴつスケッチ教室は、道の駅で販売している花やカボチャなどの野菜、特産のいちごにぶどうなどの果物のほか、教室の2階の窓から望めるのどかな風景もスケッチしてもらいました。描き終えたスケッチを道の駅ギャラリーで作品展として飾ることで、目にした人が始めるきっかけとなるケースも増えて、今では2クラスの教室事業を実施しています。水彩画教室もが考えましたが、絵具や水を使うことで絨毯を汚したりすることにも配慮し、誰でも気軽に書ける「えんぴつ」を選択しました。

多肉植物寄せ植え教室は、夏・冬の道の駅一日イベントを利用してアンケート調査を実施し、興味のある方に後日、開催日の連絡を行ったりした甲斐もあり、定員15名に対して12名~13名となりました。「やはり口コミです。常に発信し続ける事が大事だと知りました。企画運営は本当に難しく、勉強させてもらっています」と大変謙虚に話す新井さんの姿が印象的でした



えんぴつスケッチ教室



多肉植物寄せ植え教室



#### ④体育館とは差別化して体幹ヨガ教室 高い参加料ながら若者に人気

スポーツとしては、体幹ヨガ教室があります。体育館でのヨガ教室と同じ講師が担当していますが、内容を少し差別化してプレミアム教室としてうたっています。体幹を鍛えるための道具も用意してプログラムが組まれている点が体育館とは違った特色で、参加料は高いですが少数精鋭で8名の会員が受講しています。先生も爽やかで、憧れの講師ということもあり、若い人が多く参加しています。教室が終わった後は、1階にある「hanana」でベジタブルランチをみんなで一緒に食べてから帰ると聞いています。

料金のシステムですが、会員登録1,000円とスポーツ保険の他に参加料としてプレミアム教室が「月3回で4,000円」(一般ヨガ教室は「月4回で3,000円」となっています。他の教室は1回あたり350円～850円で、指導者謝金や経費等の金額を、定員の6～7割の人数で割って算出しています。



体幹ヨガ教室



河野妃世先生

スタッフ  
新井朋子さん

### 3 会員の交流場所としての道の駅

道の駅には、町民だけではなく他の市町村からの来客も多くあります。そこで、初めて総合型クラブを知ってもらうことができるのが、夏・冬の道の駅一日イベントです。道の駅に来客された人に500円～1000円で体験できるイベントで、クラフト教室・木工教室・多肉寄せ植え教室・お菓子作り教室があります。材料の関係で4教室・定員180名ですが、すべて定員を満たしてしまう程の人気となっています。定員180名の内、平群町の人が多く、イベントを知った町民から予めの申し込みが毎年増えています。これは、総合型地域スポーツクラブの認知度が増したことが一因となっています。クラブマネジャーの北さんは「町民が交流することで、くまがしクラブ会員も増えるという相乗効果が出ている」と話しています。

地域振興センターから教室事業を引き継ぎましたが、貸館業として2階部分の貸し出しを地域振興センターが行っている関係で、個人の先生が華道教室等を開いています。このため、クラブとしても種目がかぶらないよう配慮しています。地域で活動して頑張っている人と協働していく姿勢を堅持しています。飛び跳ねたりなどの運動が、道の駅ではできないことから、ヨガなど静的な種目を採用していますが、今後は文化的なものを中心に道の駅教室に取り入れていく予定です。道の駅での食育を通じて、地域コミュニティの輪を広げ、スポーツに対しても興味を持ってもらい体育も育んでいきます。そして道の駅のセールスポイントとして、北さんは「根底に地域振興があることを忘れずに事業を展開していきたい」と意気込んでいます。

(くまがしクラブ クラブマネジャー・北和恵、ボランティアスタッフ・新井朋子)  
(奈良県クラブアドバイザー 川崎香織)

## クラブプロフィール

**設立年月日** 平成25年4月1日

**所在地** 奈良県生駒郡平群町福貴72

**運営** 会員数409名(平成29年6月現在)、予算規模2,400万円(平成29年度)

**有給職員** 2名

**特徴** 「町民ひとり1スポーツ」を合言葉に、平群町内外の青少年健全育成と地域住民の生涯スポーツの推進を図っている。普及活動の裾野を広げるべく、頂点たる強化(アカデミー)クラスの育成に力を注ぐため、指導者講習会を新たに設けて地域での指導者育成に取り組み、また文化活動を行うことで多様な会員を集めコミュニティの場を広げて、地域連帯感あふれるクラブを目指している。

**連絡先** 〒636-0936 奈良県生駒郡平群町福貴72 平群総合スポーツセンター内  
くまがしクラブ

電話番号 0745-44-9007 FAX 0745-45-0743

E-Mail [heguri@kumagashiclub.com](mailto:heguri@kumagashiclub.com)

URL <http://www.kumagashiclub.com>